

今そこにある

サイバー危機

参加費無料

- 日時 2019年6月11日(火) 18:00~19:30
(開場 17:30)
- 会場 日本医師会館 大講堂 (東京都文京区本駒込2-28-16)
- 定員 先着300名様

生活を便利にし、仕事の効率も格段に向上させたインターネットは、他方で端末へのウィルス感染や不正侵入など、サイバーセキュリティに対する脅威ももたらしています。

こうしたサイバー危機に対処すべく我が国では、「サイバーセキュリティ基本法」の制定をはじめ、様々な対策を進めていますが、現場で実際に危機に遭遇し対処しなければならないのは、インターネットに接続している私たちです。インターネットやコンピュータ、プログラミングの基礎知識を身につけ、情報セキュリティについて適切な対策を取得すること、すなわち「ICTリテラシーを身につけること」が、今なにより私たちには求められています。とりわけ情報の機微性・秘匿性や、医療行為への被害の深刻さに鑑みれば、医療機関にはより切実な課題です。

本シンポジウムでは、IoT時代におけるサイバーセキュリティ政策、医療現場のセキュリティなど、様々な視点からのサイバー危機対策やプログラミング言語開発者から見たICTリテラシーについて議論します。



ICTリテラシー向上で
サイバー危機への
適切な対処を！

開演挨拶

石川 広己

日本医師会ORCA管理機構株式会社 代表取締役会長、日本医師会 常任理事

講演



講師：木村 公彦（きむら・きみひこ）

総務省サイバーセキュリティ統括官付参事官

92年、郵政省（現総務省）入省。総務副大臣秘書官、郵政企画管理局保険企画課課長補佐、総合通信基盤局料金サービス課課長補佐、同事業政策課統括補佐、情報通信研究機構ワシントン事務所長、総務省総合通信基盤局事業政策課調査官、警察庁長官官房国際課国際協力室長、総務省情報通信国際戦略局国際協力課長などを経て、18年7月より現職。



講師：まつもと ゆきひろ

プログラミング言語Rubyの生みの親。

株式会社ネットワーク応用通信研究所フェロー、一般財団法人Rubyアソシエーション理事長。内閣官房 IT総合戦略本部本部員。鳥取県米子市生まれ。英語圏ではMatzの愛称で呼ばれている。自他共に認めるプログラミング言語おたくとしても知られている。



講師：澤 倫太郎（さわ・りんたろう）

日本医師会総合政策研究機構研究部長/会長特別補佐。

日本医科大学大学院生殖発達病態学講師。慶應義塾大学産婦人科学教室客員准教授。

日本産科婦人科学会前幹事長。日本医師会元常任理事。

文科省「生命倫理安全部会」委員、

内閣府「医療関連行為の特許保護の在り方に関する専門調査会」委員、

厚労省「生殖医療部会」、「臓器移植専門委員会」委員などを経て現職。

パネルセッション

今そこにあるサイバー危機

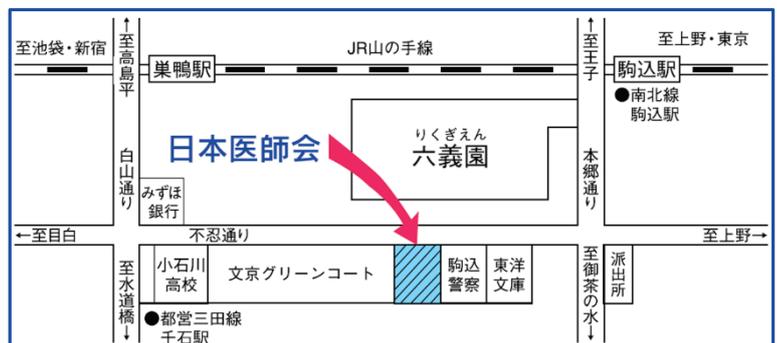
我が国のサイバーセキュリティ政策の内容、実際にあった過去事例や、イスラエルなどの国際的な取り組みについて、政府・開発者・医療現場それぞれの視点からサイバー危機への対策方法を議論するパネルセッションです。

会場のご案内

日本医師会館 大講堂

東京都文京区本駒込2-28-16

JR山手線 「駒込駅」南口より徒歩約10分
東京メトロ南北線 「駒込駅」より徒歩約10分
都営地下鉄三田線 「千石駅」A3出口より徒歩約8分



参加お申込み方法

お申し込みをご希望される方は、参加希望者ご氏名（複数名参加の場合は代表者1名）、所属先、参加希望人数をご明記の上、下記メールアドレスまでご連絡ください。

✉ programming@pm.orcamo.co.jp



社会人プログラミング教育研究実行委員会

<https://pear.orcamo.co.jp/>

【事務局】

日本医師会ORCA管理機構

☎ 03-5981-9681